記事

[Megumi Kakechi](#) · 2021年3月25日 3m read

^%GSIZE で出力される各項目の意味

これは [InterSystems FAQ サイト](#)の記事です。

^%GSIZE ユーティリティでは、グローバルのサイズを算出することができます。

このユーティリティで出力される各項目の意味について説明します。

例えば、USER名前スペースのグローバルについて do ^%GSIZE を実行し、以下のように出力結果を得られたとします。

```
USER>do ^%GSIZE
```

```
Directory name: c:/intersystems/iris/mgr/user/=> // サイズを確認したいデータベースディレクトリ
```

```
All Globals? No => yes // 全てのグローバルサイズを確認する場合は yes
```

```
100 items selected from
```

```
100 available globals
```

```
Show details?? No => yes // 詳細情報を表示したい場合は yes
```

```
Device: // 画面出力はそのまま <Enter>。出力ファイルパス指定も可
```

```
Right margin: 80 =>
```

```
:
```

```
directory: c:/intersystems/iris/mgr/user/
```

```
Page: 1 GLOBAL SIZE 03 Sep 2020
```

```
10:15 AM
```

```
Global Blocks Bytes Used Packing Contig.
```

```
-----
```

```
A 1 12 0 % 0
```

```
B 59 432,028 90 % 42
```

```
:
```

「Blocks」は、
グローバルが格納されているブロックの総数になります。
グローバルAは1ブロック(1*8192Byte)使用しているということになります。
グローバルBは59ブロック(59*8192Byte)使用しているということになります。

「Bytes Used」は、
グローバルに使用されている総バイト数になります。
グローバルAは12Byte、Bは432,028Byte使用しているということになります。

「Packing」は、
グローバルの充填率を示します。この値は、以下の計算式で求められます。

```
Bytes Used / (Blocks * Block Size) * 100
```

```
B : 432,028 / (59 x 8192) * 100 90 %
```

「Contig」は、
グローバルが使用しているブロックで一番大きな連続領域のブロック数を示します。
グローバルB では 42個のブロックが一番大きく連続して確保された領域であることを示しています。

^%GSIZE ユーティリティについては、[【FAQ】データサイズを調べる方法がありますか？](#)
もあわせてご覧ください。

[#ObjectScript](#) [#システム管理](#) [#ヒントとコツ](#) [#Caché](#) [#Ensemble](#) [#InterSystems IRIS](#) [#InterSystems IRIS for Health](#)

ソースURL:

<https://jp.community.intersystems.com/post/gsize-%E3%81%A7%E5%87%BA%E5%8A%9B%E3%81%95%E3%82%8C%E3%82%8B%E5%90%84%E9%A0%85%E7%9B%AE%E3%81%AE%E6%84%8F%E5%91%B3>